

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

2024年2月14日

各 位

株式会社 T & D ホールディングス
(コード番号：8795 東証プライム)
太陽生命保険株式会社
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

日本国が発行する「クライメート・トランジション利付国債（GX経済移行債）」への投資

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島 直樹、以下「太陽生命」）とT&Dフィナンシャル生命保険株式会社（社長 森中 哉也、以下「T&Dフィナンシャル生命」）は、日本国が発行する「クライメート・トランジション利付国債（GX経済移行債）」（以下「当債券」）への投資を決定いたしました。（URL：mof.go.jp/jgbs/topics/JapanClimateTransitionBonds）

当債券は、世界初の国によるトランジション・ボンドであり、これまでの国債（建設国債、特例国債、復興債等）と同様に、同一の金融商品として統合して発行することに限らず、調達する資金の使途やレポート方法等を示したフレームワークを策定したうえで、国際標準への準拠について評価機関からの認証（セカンド・パーティ・オピニオン）を取得した、脱炭素成長型経済構造移行債（GX（グリーントランスフォーメーション）経済移行債）の個別銘柄として発行されます。

日本政府のトランジション戦略は、パリ協定と整合する国際公約の実現に向けて、2050年カーボンニュートラルの実現及び中間マイルストーンである2030年度の目標（2013年比46%の削減）達成のため、今後10年間で官民合わせて150兆円の投資を呼び込む計画であること、政府がこれに先んじてクライメート・トランジション・ボンド・フレームワークに定めた投資を実行することで、GX投資を喚起することとされています。2023年に成立したGX推進法に基づき、同年7月に閣議決定された「GX推進戦略」で策定した目標及び方針に沿って、クライメート・トランジション・ボンド・フレームワークの適格クライテリアが設定されました。

当債券の資金使途は、当該フレームワークを満たすものとして、日本政府が選定した研究開発資金及び/または補助金プログラム等となります。民間のみでは投資判断が真に困難な事業であって、排出削減と産業競争力強化・経済成長の実現に貢献する分野への投資に優先順位をつけて、使途の対象とすることとされております。

<当債券の概要>

発行体：日本国

債券名称：クライメート・トランジション利付国債（GX経済移行債）

発行総額：8,000億円程度

償還期間：10年

資金使途：GX推進戦略に基づきクライメート・トランジション・ボンド・フレームワークで特定した適格クライテリアに該当する事業

T&D保険グループは、「T&D保険グループESG投資方針」(td-holdings.co.jp/csr/csr-policy/esg)に基づき、「責任投資原則(PRI)」の考え方や、国連が提唱した持続可能な開発目標である「SDGs」などを踏まえ、環境・社会・企業統治の課題を考慮する「ESG投資」に積極的に取り組んでいます。社会的課題の解決に資する当債券への投資は、こうした取組みの一つです。

引き続き、T&D保険グループは、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成に貢献できるよう努めてまいります。

以上

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報課	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課	TEL 03-3272-6406
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	TEL 03-6745-6808